

# 女子大学生の健康認識についての一考察

— 専攻別による比較検討 —

大西真由実・小林壽子・渡邊貢次\*<sup>1</sup>・鈴木千春\*<sup>2</sup>・藤井寿美子\*<sup>3</sup>

## A Study on their Concern with Health of Female Students

Comparison among the Students Majoring "Yogo Teacher", i.e. School Nurse Teacher, the Students Majoring Medical Treatments & Cares, and Other Studies

Mayumi ONISHI, Hisako KOBAYASHI, Koji WATANABE\*<sup>1</sup>,  
Chiharu SUZUKI\*<sup>2</sup>, Sumiko FUJII\*<sup>3</sup>

We have had a hypothesis that there must be the different concern with their health among the students majoring "Yogo Teacher", that is, School Nurse Teacher, the students majoring medical treatments & cares, and other studies. Thus, we surveyed their concern with health by showing the questionnaires to 1340 students.

The findings were follows;

- 1) About 80% of students replied that they were in good health in general and there were no significant differences among the students majoring Yogo Teacher, the students majoring medical treatments & cares, and other studies. But the students majoring Yogo Teacher felt less healthy than the others in depth.
- 2) The physical functions limited the students' activities by their health conditions affected mostly the students majoring other studies, and then the students majoring medical treatments & cares, and less affected the students majoring Yogo Teacher.
- 3) The students majoring medical treatments & cares, and Yogo Teacher had much more bodily pains than the students majoring other studies.
- 4) The students majoring Yogo Teacher had been less frustrated than the students

---

\*<sup>1</sup> 愛知教育大学教育学部 \*<sup>2</sup> 愛知県立岡崎北高等学校 \*<sup>3</sup> 愛知女子短期大学

majoring medical treatments & cares and other studies.

- 5) As a whole, the students majoring medical treatments & cares had been much healthier than the students majoring Yogo Teacher, and the students majoring other studies had been less healthy than the formers.

## I. はじめに

日本人の平均寿命は急速に男女とも伸び、今や世界一の長寿国とされている。高齢化社会の到来が述べられて既に久しい。社会における高齢者の比重が増すにつれ、高齢者のQuality of life (QOL:生活の質)は高齢社会の大きな課題とされているが、このことは私達の現在そして将来の健康や福祉のあり方を決定していく大きな要因となるといわれている。それに伴って若年層から高齢者に至るまで各世代の日常生活の中でQOLの確立が大きな課題として問われることになる。QOLの確立にあたっては社会的・経済的といった外的状況ももちろんであるが、各個人の健康観(意識・行動を含む)が大きな要素となる。

渡邊ら<sup>1) - 3)</sup>はこれまでも男女大学生の健康意識・行動に関する調査を行った結果から、低年齢時には適切な生活習慣確立のための知識や技術の理解と実践を目指すこと、そして青年期の健康再教育の必要性について報告している。これらの実現が成人・高齢化にむかっただけのQOLの充実に結びついていくと考えられる。また、大学で専門性を深めることによって健康観が育ってくるのではないかと考えられる。

そこで、女子大学生のうち健康にかかわる領域を専攻している養護教諭をめざす者、看護・医療等をめざす者、及びそれ以外の者を対象に最近の身体状況・心の状態などから健康状態を確認し、健康意識の実践として歯科保健行動、健康観を育てたり実践を継続していくにあたって大きな要素となる医各科のイメージ(印象)についてアンケートによる調査を行った。今回はその中で健康意識と健康状態の項目について専攻間で比較検討した。

## II. 研究方法

### II・1. 調査対象及び調査時期

全国の9大学・短期大学の女子大学生で養護教諭専攻学生(以下、養護学生)440名、看護・医療従事専攻学生(以下、看護学生)393名、それ以外専攻学生(以下、他学生)507名、合計1340名を対象とした。1999年10~12月に、担当者が大学での授業時などにアンケート用紙を配布し、その場で記入後(一部は自宅持ち帰り記入)、回収した。

### II・2. 調査内容

調査内容はMeasuring Health (Ian McDowell, 1996)<sup>4)</sup>をもとに、①「健康意識、生活習慣、身体状況」、②「歯磨き習慣」、③「内科・外科等9科に対する痛み・身近さ・大切さのイ

メージ」など23項目について尋ねた（資料1）。

①の健康調査は広く社会人に活用されているシートであり，身体的，社会的あるいは精神的な問題について尋ねることができるようになっている<sup>4)</sup>。②の歯科保健活動及び③の医各科へのイメージ調査は，愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座（主任 中垣晴男教授）が地域歯科保健活動の一環として作成し市町村の検診時などで活用しているものである<sup>5)</sup>。中垣らはこれらを合わせた健康調査シートを作成し，社会人や大学生を対象に活用している。今回の対象者にもこれを適用した。

### II・3. 処理及び分析方法

データの集計及び分析にはSPSS及びExcelを使用した。また，有意差の判定には $\chi^2$ 検定又は一元配置分散分析法及びRyanの方法により，5%および1%水準で行った。

## III. 結果

今回は調査項目のうち1～12までの健康意識・行動等について専攻別にクロス集計を行い比較を行った。

### III・1. 対象者の平均年齢

平均年齢は養護学生19.8± 1.2歳，看護学生20.0± 2.5歳，他学生19.2± 1.3歳であり，差はみられなかった。

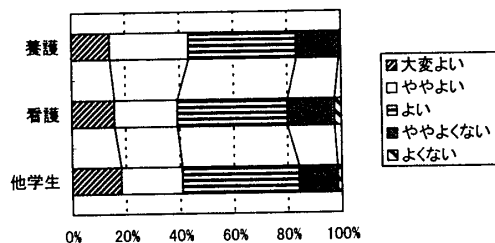
### III・2・1. 健康意識

現在の「あなたの健康は」に対し，「大変よい+ややよい」「よい」とも約4割であり，専攻間に差はみられなかった（表1，図1）。

表1 あなたの健康は

選択肢	配点	養護学生 n = 440	看護学生 n = 391	他学生 n = 505	検定
大変よい	5点	63 (14.3%)	62 (15.9%)	92 (18.2%)	$\chi^2$ 検定 NS  一元配置 NS
ややよい	4点	128 (29.1%)	91 (23.3%)	114 (22.6%)	
よい	3点	176 (40.0%)	160 (40.9%)	219 (43.4%)	
ややよくない	2点	69 (15.7%)	68 (17.4%)	72 (14.3%)	
よくない	1点	4 (0.9%)	10 (2.6%)	8 (1.6%)	
得点化平均点		3.40点	3.32点	3.42点	

図1 あなたの健康は



次に，高得点ほど健康状態がよいことを示すように5段階の尺度を「大変よい」を5点，「ややよい」を4点，「よい」を3点，「ややよくない」を2点，「よくない」を1点に得点化し，専攻別に平均点を算出した。その結果，養護学生3.40点，看護学生3.32点，他学生3.42点で，専攻

間に差はみられなかった (図 2)。

図 2 あなたの健康は (得点化)

### Ⅲ・2・2. 健康状態

普段の「あなたの健康状態は大変よい」に「そうでない+はっきりそうでない」が養護学生28.6%，看護学生18.8%，他学生19.5%と養護学生に多くみられた ( $p<0.01$ ) (表 2, 図 3)。

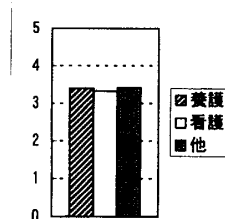
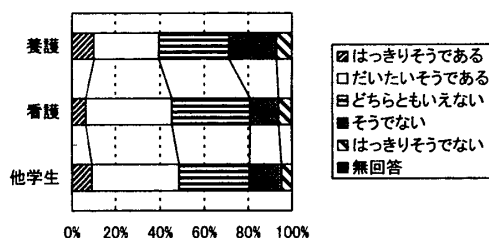


表 2 あなたの健康状態は大変よい

選択肢	養護学生 n = 430	看護学生 n = 382	他学生 n = 498	$\chi^2$ 検定
はっきりそうである	44 (10.2%)	24 (6.3%)	46 (9.2%)	$p<0.01$
だいたいそうである	126 (29.3%)	149 (39.0%)	196 (39.4%)	
どちらともいえない	137 (31.9%)	136 (35.6%)	159 (31.9%)	
そうでない	93 (21.6%)	50 (13.1%)	73 (14.7%)	
はっきりそうでない	30 (7.0%)	22 (5.8%)	24 (4.8%)	
無回答	0 (0.0%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)	

図 3 あなたの健康状態は大変よい

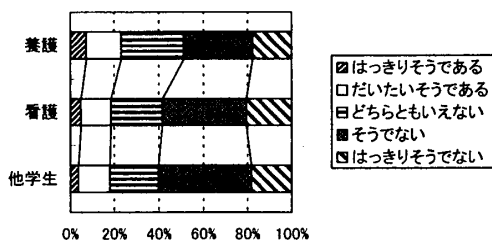


「あなたの健康状態は最近よくない」では「そうでない+はっきりそうでない」が養護学生48.7%，看護学生58.4%，他学生60.2%と養護学生に少なかった ( $p<0.01$ ) (表 3, 図 4)。

表 3 あなたの健康状態は最近よくない

選択肢	養護学生 n = 429	看護学生 n = 296	他学生 n = 497	$\chi^2$ 検定
はっきりそうである	31 (7.2%)	14 (4.7%)	18 (3.6%)	$p<0.01$
だいたいそうである	69 (16.1%)	41 (13.9%)	72 (14.5%)	
どちらともいえない	120 (28.0%)	68 (23.0%)	108 (21.7%)	
そうでない	133 (31.0%)	112 (37.8%)	208 (41.9%)	
はっきりそうでない	76 (17.7%)	61 (20.6%)	91 (18.3%)	

図 4 あなたの健康状態は最近よくない



次に健康状態のそれぞれの項目について、いずれも高得点ほど健康状態がよいことを示すように5段階の尺度を1～5点に得点化し、専攻別に平均点を算出した (表 4)。その結果、「健康状態は大変よい」に対して養護学生3.14点，看護学生3.27点，他学生3.34点で，他学生が養護学生に比べ有意に高い得点であった ( $p<0.05$ )。「健康状態は最近よくない」に対して養護学生3.36点，看護学生3.56点，他学生3.57点で養護学生が看護・他学生に比べ低い得点であった ( $p<0.05$ ) (図 5)。

表4 健康状態の配点および平均点

	はっきり そうである	だいたい そうである	どちらとも いえない	そうでない	はっきり そうでない	得点化平均点	一元配置法
病気である	1点	2点	3点	4点	5点	養護4.14点 看護4.19点 他 4.25点	N S
人並みである	5点	4点	3点	2点	1点	養護3.89点 看護3.92点 他 3.87点	N S
大変よい	5点	4点	3点	2点	1点	養護3.14点 看護3.27点 他 3.34点	p<0.05
最近よくない	1点	2点	3点	4点	5点	養護3.36点 看護3.56点 他 3.57点	p<0.05

Ⅲ・3・1. 運動支障

「健康が理由で次の行動について支障（不自由）がありましたか」に対しては「重い物を持ち上げるような運動」「上り坂の歩行」「食事トイレの使用」に専攻間に有意差が認められた（それぞれ順にp<0.01, p<0.05, p<0.01）。「テーブルの移動などの中程度の運動」では有意傾向があったが、「背中を曲げたり，身をかがめること」「町の歩行」では専攻間に差はみられなかった（表5，図6，図7，図8）。

次にそれぞれの項目について，いずれも高得点ほど状態がよいことを示すように3段階の尺度を「あった（3か月より長く）」を1点，「あった（3か月以下）」を2点，「なかった」

図7 健康が理由で上り坂の歩行などの運動に支障がありましたか

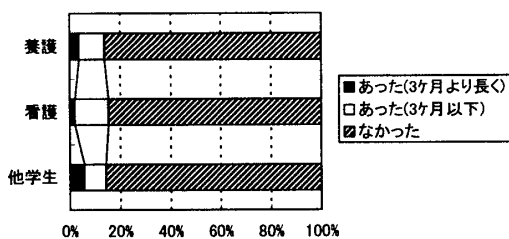


図6 健康が理由で重い物を持ち上げる，スポーツに参加する，ような運動に支障がありましたか

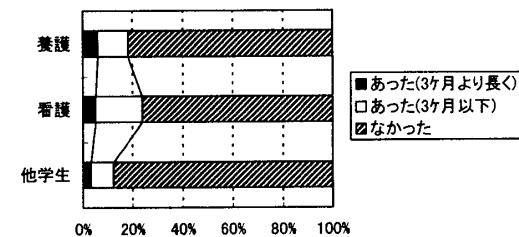


図8 健康が理由で食事・入浴・トイレなどに支障がありましたか

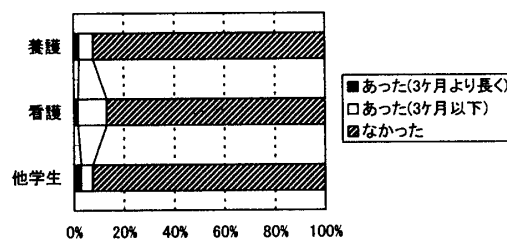


図5 健康状態

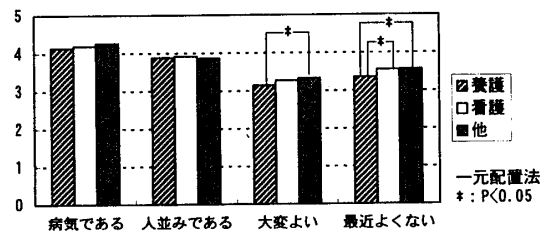
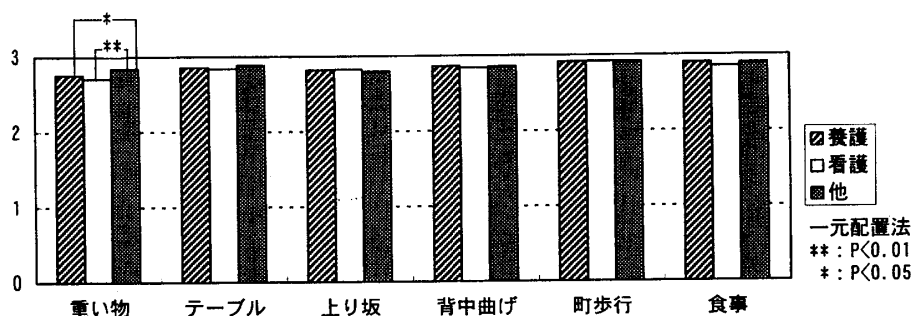


表5 運動などの支障「健康が理由で次の行動に支障(不自由)がありましたか。」

質 問	専攻 n	あった 3か月より長く	あった 3か月以下	なかった	得点化平均点	検定
重い物を持ち上げるよ うな運動	養護学生 n=434	26 ( 6.0%)	53 (12.2%)	355 (81.8%)	2.76点	$\chi^2$ 検定 p<0.01 一元配置 p<0.01
	看護学生 n=393	20 ( 5.1%)	74 (18.8%)	299 (76.1%)	2.71点	
	他学生 n=504	16 ( 3.2%)	46 ( 9.1%)	442 (87.7%)	2.85点	
テーブルの移動などの 中程度の運動	養護学生 n=434	12 ( 2.8%)	36 ( 8.3%)	386 (88.9%)	2.86点	$\chi^2$ 検定 p<0.1 一元配置 N S
	看護学生 n=391	9 ( 2.3%)	43 (11.0%)	339 (86.7%)	2.84点	
	他学生 n=504	14 ( 2.8%)	28 ( 5.6%)	462 (91.7%)	2.89点	
上り坂の歩行など	養護学生 n=436	16 ( 3.7%)	44 (10.1%)	376 (86.2%)	2.83点	$\chi^2$ 検定 p<0.05 一元配置 N S
	看護学生 n=392	8 ( 2.0%)	52 (13.3%)	332 (84.7%)	2.83点	
	他学生 n=504	29 ( 5.8%)	43 ( 8.5%)	432 (85.7%)	2.80点	
背中を曲げたり、身を かがめること	養護学生 n=435	8 ( 1.8%)	42 ( 9.7%)	385 (88.5%)	2.87点	$\chi^2$ 検定 N S 一元配置 N S
	看護学生 n=393	10 ( 2.5%)	41 (10.4%)	342 (87.0%)	2.84点	
	他学生 n=505	17 ( 3.4%)	36 ( 7.1%)	452 (89.5%)	2.86点	
町の一区画の歩行など	養護学生 n=436	7 ( 1.6%)	23 ( 5.3%)	406 (93.1%)	2.92点	$\chi^2$ 検定 N S 一元配置 N S
	看護学生 n=392	5 ( 1.3%)	23 ( 5.9%)	364 (92.9%)	2.92点	
	他学生 n=504	11 ( 2.2%)	21 ( 4.2%)	472 (93.7%)	2.91点	
食事・入浴・トイレなど	養護学生 n=435	9 ( 2.1%)	25 ( 5.7%)	401 (92.2%)	2.90点	$\chi^2$ 検定 p<0.01 一元配置 N S
	看護学生 n=392	6 ( 1.5%)	45 (11.5%)	341 (87.0%)	2.85点	
	他学生 n=505	14 ( 2.8%)	24 ( 4.8%)	467 (92.5%)	2.90点	

を3点に得点化し、専攻別に平均点を算出した。その結果、「重い物を持ち上げるような運動」に対してのみ有意差がみられ、養護学生2.76点、看護学生2.71点、他学生2.85点で、他学生が養護・看護学生に比べ有意に高い得点であった (p<0.01) (図9)。

図9 運動支障



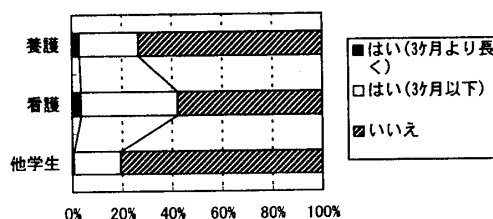
Ⅲ・3・2. 行動支障

「健康が理由で仕事，家事，学校に行くことに支障がありましたか」では，「いいえ」が養護学生73.4%，看護学生57.8%，他学生80.7%で看護学生に有意に少なくみられた (p<0.01) (表6，図10)。

表6 仕事や家事への支障

選択肢	養護学生 n = 440	看護学生 n = 393	他学生 n = 507	検定
はい (3か月より長く)	13 (3.0%)	14 (3.6%)	3 (0.6%)	χ <sup>2</sup> 検定 p<0.01 一元配置 p<0.01
はい (3か月以下)	104 (23.6%)	152 (38.7%)	95 (18.7%)	
いいえ	323 (73.4%)	227 (57.8%)	409 (80.7%)	
得点化平均点	2.70点	2.54点	2.80点	

図10 健康が理由で仕事・家事・学校に支障がありましたか

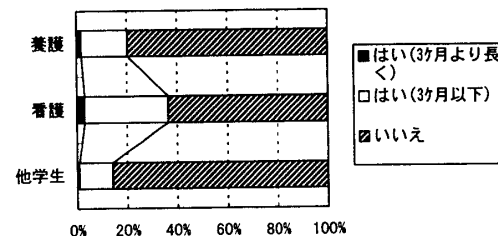


「健康のために仕事，家事，学校での勉強ができないことがありましたか」では，「いいえ」が養護学生79.7%，看護学生63.5%，他学生85.8%で看護学生に有意に少なくみられた (p<0.01) (表7，図11)。

表7 仕事や家事ができない

選択肢	養護学生 n = 439	看護学生 n = 392	他学生 n = 506	検定
はい (3か月より長く)	8 (1.8%)	12 (3.1%)	4 (0.8%)	χ <sup>2</sup> 検定 p<0.01 一元配置 p<0.01
はい (3か月以下)	81 (18.5%)	131 (33.4%)	68 (13.4%)	
いいえ	350 (79.7%)	249 (63.5%)	434 (85.8%)	
得点化平均点	2.78点	2.60点	2.85点	

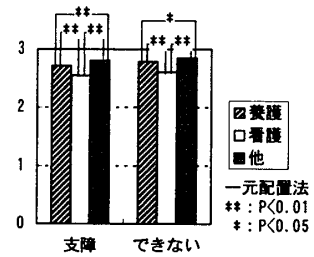
図11 健康のために仕事・家事・勉強ができないことがありましたか



次にそれぞれの項目について，いずれも高得点ほど状態がよいことを示すように3段階の尺度を「はい(3か月より長く)」を1点，「はい(3か月以下)」を2点，「いいえ」を3点に得点化し，専攻別に平均点を算出した。その結果，「健康が理由で仕事，家事，学校に行くことに支障がありましたか」「健康のために仕事，家事，学校での勉強ができないことがありました

か」共に全ての専攻間で有意差がみられ、看護、養護、他学生の順に高い得点であった。(順に「2.54, 2.70, 2.80」「2.60, 2.78, 2.85」)(共に $p<0.01$ ) (図12)。

図12 行動支障



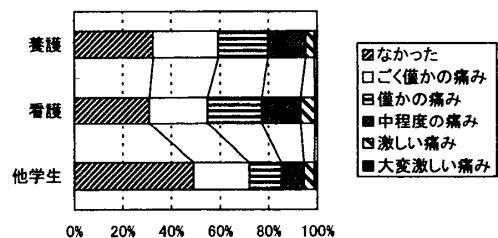
### Ⅲ・4. 身体の痛み

「この1か月で、身体に痛みはありましたか」では「なかった+ごく僅かの痛みがあった」が養護学生59.2%，看護学生54.7%，他学生72.0%であり、他学生に有意に多くみられた ( $p<0.01$ ) (表8, 図13)。

表8 この1か月の身体に痛み

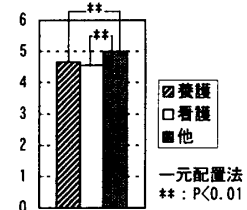
選択肢	養護学生 n = 439	看護学生 n = 393	他学生 n = 507	検定
なかった	143 (32.6%)	122 (31.0%)	249 (49.1%)	$\chi^2$ 検定 $p<0.01$ 一元配置 $p<0.01$
ごく僅かの痛み	117 (26.7%)	93 (23.7%)	116 (22.9%)	
僅かの痛み	90 (20.5%)	88 (22.4%)	67 (13.2%)	
中程度の痛み	68 (15.5%)	63 (16.0%)	47 (9.3%)	
激しい痛み	16 (3.6%)	23 (5.9%)	22 (4.3%)	
大変激しい痛み	5 (1.1%)	4 (1.0%)	6 (1.2%)	
得点化平均点	4.66点	4.55点	5.00点	

図13 この1か月で身体に痛みがありましたか



次に高得点ほど健康状態がよいことを示すように6段階の尺度を「なかった」を6点, 「ごく僅かの痛みがあった」を5点, 「僅かの痛みがあった」を4点, 「中程度の痛みがあった」を3点, 「激しい痛みがあった」を2点, 「大変激しい痛みがあった」を1点に得点化し, 専攻別に平均点を算出した。その結果, 養護学生4.66点, 看護学生4.55点, 他学生5.00点で, 他学生が養護・看護学生に比べ有意に高い得点であった ( $p<0.01$ ) (図14)。

図14 身体に痛み



### Ⅲ・5. 心の状態

「次のそれぞれの質問についてこの1か月であなたが感じていることに最も近いものはどれですか」の質問に対し「常にあった～全くなかった」の6段階評価で尋ねたところ, 有意差がみられたのは「神経質」「憂鬱」「元気がなかった」の3項目だった (いずれも $P<0.01$ ) (表9, 図15, 図16, 図17)。しかし, 「おだやかで平和」「幸せ」の項目では差はみられなかった。

次にそれぞれの項目について, いずれも高得点ほど心の状態がよいことを示すように6段階の尺度を1～6点に得点化し, 専攻別に平均点を算出した。その結果, 5項目中, 「幸せ」以外の4項目に有意差がみられた。



表9 この1か月で感じていること

質問	専攻 n	常にあった	だいたい あった	中くらい あった	少々 あった	僅かに あった	全く なかった	検定
神経質になって いましたか  得点化平均点 養護 4.43点 看護 4.68点 他 4.66点	養護学生 n=439	23 (5.2%)	33 (7.5%)	62 (14.1%)	79 (18.0%)	98 (22.3%)	144 (32.8%)	$\chi^2$ 検定 p<0.01  一元配置 p<0.05
	看護学生 n=393	11 (2.8%)	14 (3.6%)	49 (12.5%)	73 (18.6%)	115 (29.3%)	131 (33.3%)	
	他学生 n=506	26 (5.1%)	28 (5.5%)	38 (7.5%)	104 (20.6%)	112 (22.1%)	198 (39.1%)	
	配点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	
おだやかで平和 でしたか  得点化平均点 養護 3.83点 看護 4.11点 他 4.01点	養護学生 n=435	48 (11.0%)	132 (30.3%)	92 (21.1%)	69 (15.9%)	47 (10.8%)	47 (10.8%)	$\chi^2$ 検定 NS  一元配置 p<0.05
	看護学生 n=393	46 (11.7%)	148 (37.7%)	89 (22.6%)	45 (11.5%)	42 (10.7%)	23 (5.9%)	
	他学生 n=507	67 (13.2%)	169 (33.3%)	113 (22.3%)	63 (12.4%)	50 (9.9%)	45 (8.9%)	
	配点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	
憂鬱でしたか  得点化平均点 養護 4.11点 看護 4.21点 他 4.40点	養護学生 n=439	22 (5.0%)	54 (12.3%)	71 (16.2%)	83 (18.9%)	125 (28.5%)	84 (19.1%)	$\chi^2$ 検定 p<0.01  一元配置 p<0.01
	看護学生 n=392	18 (4.6%)	33 (8.4%)	46 (11.7%)	108 (27.6%)	126 (32.1%)	61 (15.6%)	
	他学生 n=507	26 (5.1%)	41 (8.1%)	53 (10.5%)	104 (20.5%)	149 (29.4%)	134 (26.4%)	
	配点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	
幸せでしたか  得点化平均点 養護 3.96点 看護 4.15点 他 4.03点	養護学生 n=438	55 (12.6%)	129 (29.5%)	104 (23.7%)	68 (15.5%)	56 (12.8%)	26 (5.9%)	$\chi^2$ 検定 NS  一元配置 NS
	看護学生 n=393	49 (12.5%)	131 (33.3%)	111 (28.2%)	48 (12.2%)	41 (10.4%)	13 (3.3%)	
	他学生 n=506	60 (11.9%)	143 (28.3%)	151 (19.8%)	76 (15.0%)	55 (10.9%)	21 (4.2%)	
	配点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	
元気がなかつ たですか  得点化平均点 養護 4.23点 看護 4.19点 他 4.48点	養護学生 n=439	12 (2.7%)	43 (9.8%)	92 (21.0%)	72 (16.4%)	123 (28.0%)	97 (22.1%)	$\chi^2$ 検定 p<0.01  一元配置 p<0.01
	看護学生 n=393	9 (2.3%)	45 (11.5%)	72 (18.3%)	74 (18.8%)	124 (31.6%)	69 (17.6%)	
	他学生 n=505	14 (2.8%)	44 (8.7%)	69 (13.7%)	85 (16.8%)	144 (28.5%)	149 (29.5%)	
	配点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	

図15 この1か月は神経質になっていましたか

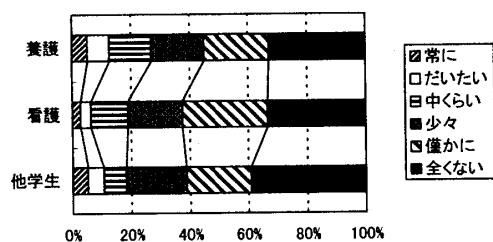
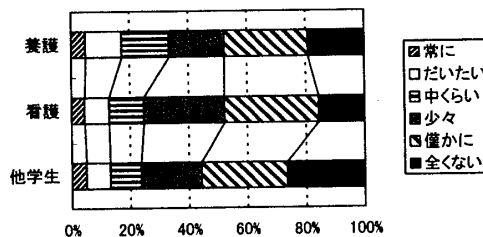


図16 この1か月は憂鬱でしたか



「神経質」に対して養護学生4.43点, 看護学生4.68点, 他学生4.66点, 養護学生が看護・他学生に比べ有意に低い得点であった ( $p<0.05$ )。「憂鬱」に対して養護学生4.11点, 看護学生4.21点, 他学生4.40点, 他学生が養護に比べ有意に ( $p<0.01$ ), 看護学生に比べ高い得点傾向 ( $p<0.1$ ) であった。「元気がなかった」に対して養護学生4.23点, 看護学生4.19点, 他学生4.48点, 他学生が養護・看護学生に比べ有意に高い得点であった ( $p<0.01$ )。「おだやかで平和」に対して養護学生3.83点, 看護学生4.11点, 他学生4.01点, 養護学生が看護学生に比べ有意に ( $p<0.05$ ), 他学生に比べ低い得点傾向 ( $p<0.1$ ) であった (図18)。

図17 この1か月は元気がなかったですか

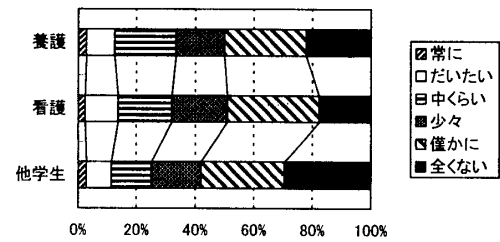
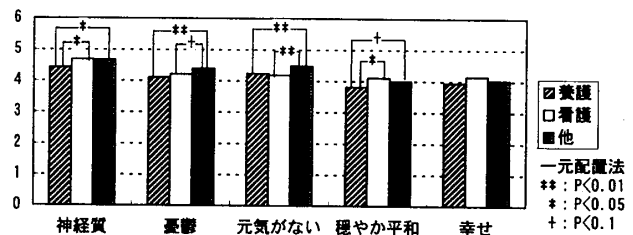


図18 心の状態



### Ⅲ・6. 総合評価

以上の結果から, 三専攻間で総合評価を行った。全体的に健康状態が優れていたのは, 他学生であり, 続いて養護学生, 看護学生の順であった。

### Ⅳ. 考察

今回の調査で自分の健康は「大変よい～よい」を合わせると養護学生83.4%, 看護学生80.0%, 他学生84.2%,

「ややよくない+よくない」を含めた割合は養護学生16.6%, 看護学生19.9%, 他学生15.8%となり川崎ら<sup>6)</sup>の研究と同様の結果が得られた。この割合の女子大学生が「自分の健康はよくない」と感じていることは疾病罹患率の少ない年代であることから考えると, 学生の健康管理上問題である。しかし, 米田ら<sup>7)</sup>は大学生の食事時間, 就寝・起床時間が不安定であり, 健康を意識しての行動がとられていない。生活が健康的である為の要因として, 健康状態においては疲労感がないこと, 目覚めの状態が良いことに有意差が認められたと報告している。疾病罹患率の少ない年代ではあるが, 不規則な生活を送ることが多い年代でもあるため, 疲労感や目覚めの悪さを感じることから健康状態に影響しているのではないだろうか。若い女性のライフスタイルの悪化が指摘されていることもあり<sup>8), 9)</sup>, 大学生のライフスタイルの見直しなどを含めて適切な改善<sup>7), 10)</sup>が必要である。

表10に示したように専攻間で差のみられた項目全体を通してみると, 得点は「養護<他」であり, 身体・心を含めた健康状態全体が養護学生は他学生に比べてよくない状態であると認識

表10 不等号で表した今回の調査結果

あなたの健康は	養護 = 看護 = 他学生
健康状態	養護 < 看護・他学生
運動支障	看護 ≤ 養護 < 他学生
行動支障	看護 < 養護 < 他学生
身体の痛み	看護・養護 < 他学生
心の状態	養護・看護 < 他学生
総合評価	看護 < 養護 < 他学生

A<B: AよりBの方がよい状態である。

していた。看護学生は自分の健康状態は養護学生よりはよいと捉えているが、身体の痛みや元気がないことを感じており、生活行動に支障があったり出来ないことがあったとの訴えが目立った。他学生は身体・心を含めた健康状態全体が養護学生・看護学生に比べるとよい状態であると認識していた。

国民生活基礎調査では健康の判断指標として、傷病があるか否かだけでなく日常生活影響の程度が問題であるとし、自覚症状、通院状況、生活影響を独立の指標として国民の健康状態を示している<sup>11)</sup>。このことから、身体の痛みや心の状態を自覚症状とし、生活行動への支障を生活影響とみなすと、看護学生が健康状態がよくない状態にあるといえる。すなわち、今回の調査では健康状態がよいものから並べると、他学生、養護学生、看護学生の順になる。

以上より、健康に係わる領域を専攻している学生の方が、専攻していない学生より健康状態がよくないことが明らかになった。将来、児童生徒の健康の保持増進を担う養護教諭や医療現場に直接携わる看護・医療従事者自身が、健康であることは重要であり、大学時の健康状態がよくないことは注目すべき点である。

これらの理由としては、健康に関心が高い者が将来の職業として看護・医療や養護教諭を選択し、カリキュラムや情報も含めてより医療看護現場に近く接することから、健康度を敏感に捉えると考えられる。看護学科生が実際の体型を過大認識する傾向が強いという報告もある<sup>12)</sup>。しかし、大河原ら<sup>10)</sup>は健康に対する認識と健康度はよく一致していたと、村田ら<sup>13)</sup>は看護学生に対する調査で身体状況と生活習慣に関する主観的認知と観察把握された事実との間の関係を照合した結果、概ね問診表と観察記録との関係は整合性がみられたと報告している。これらのことから、養護学生や看護学生の中には、自身の健康状態がよくないことから健康に興味を持ち、これらを専攻している者が存在することも考えられる。また、授業・臨床実習等による疲労感の蓄積なども考慮する点である。

更に対象者は、大学生という健康に関する知識を学習している段階である。学習歴の年数が多い学生の方が食物摂取状況がよい結果であったとの報告<sup>14)</sup>もあることから、学習段階であるため、今回の養護・看護学生は健康行動に繋がっていないことも考えられ、学習により得た知識を生かし、卒業後に健康行動に繋がっていくことを期待する。加藤<sup>15)</sup>は大学生が健康行動に積極的に取り組むという点に関しては、劣っており、職業を有していたり、主婦であったりする人達と比較してもより強い傾向として認められたと報告している。

西田ら<sup>16)</sup>は女子大学生が自身の骨密度の実態を認識し、併せて骨に対する知識を得ることは、骨密度の低い学生の骨に対する意識の高揚化など、広く健康の自己管理能力獲得に資すると報告している。養護・看護学生の健康状態を改善するためには、学生自身が健康を意識した生活が必要であり、そのためには心身の客観的状況を把握すること、自らの健康を保持増進させるような実践能力が重要になる。具体的には、健康診断時に血液検査や歯科検診、骨密度測定などを実施し自身の健康実態を認識したり、それらの結果に関係する知識を得る機会を与えることで、健康を意識した生活を送るようになるのではないかと考えられる。

大学生生活は自主的な生活管理や健康管理が要求される。そのためには、自ら健康意識を持ち、生活習慣のあり方を検討することが必要である。生涯を通じての健康の維持ができるような健康意識や健康生活の実践能力を持つ学生の育成が今後も重要な課題である。

## V. おわりに

女子大学生の大学での専攻の違いによる健康意識の特性を明らかにすることを目的とし、養護教諭をめざす者、看護・医療等をめざす者、及びそれ以外の者を対象に、健康意識と最近の健康状態についてアンケートによる調査を行い、専攻間で比較検討した。結果は以下のとおりである。

1. 自分の「健康」に対して約80%学生が「よい」と認識しており、専攻間に差はなかったが、「健康状態」に対しては養護学生が看護・他学生よりよくないと認識していた。
2. 健康が理由での運動や行動への支障は、他学生、養護学生、看護学生の順で多かった。
3. 身体の痛みは、看護・養護学生が他学生より多く認識していた。
4. 心の状態は、養護学生、看護学生、他学生の順で良かった。
5. 全体を通してみると、看護学生<養護学生<他学生の順に健康状態は良かった。

## 謝 辞

本研究の遂行にあたって愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座中垣教授から親切なるご教示をいただきました。ここに厚くお礼申しあげます。また、調査にあたってご協力いただきました学生の皆さんに感謝申し上げます。

研究の一部は平成11、12年度文部省科研費補助金（基盤研究C 11672042、代表 渡邊貢次）による。また、内容の一部は第43回東海学校保健学会（2000.9.名古屋市）、第47回日本学校保健学会（2000.11.福岡市）で発表した。

## 参考文献

- 1) 渡邊貢次・鈴木千春・鈴木一吉，(1999)：女子大学生の歯科保健行動についての意識調査－小学生低年齢時～大学生時（現在）の比較－，日本教育保健研究会年報，6，p.29～36
- 2) 渡邊貢次・鈴木千春・渡邊真弓他，(2000)：男女大学生の小学生時から大学生時（現在時）の生活習慣，栄養摂取および歯科保健行動に関する調査研究，愛知教育大学研究報告，49，p.79～86
- 3) 渡邊貢次・鈴木千春・石田博幸他，(2001)：男女大学生の「健康意識・行動」と「医のイメージ」について－アンケートによる調査から－，愛知教育大学研究報告，50，p.41～49
- 4) Ian McDowell.Claire Newell，(1996)：MEASURING HEALTH - A Guide To Rating Scales and Questionnaires SECOND EDITION－，OXFORD UNIVERSITY PRESS，p.456～460

- 5) 森田一三・中垣晴男・外山敦史他, (2000): 住民の8020達成のための市町村「歯の健康づくり得点」の作成, 日本公衛誌, 47, p421~429
- 6) 川崎晃一, (1996): 身体面を中心とした大学生の健康状況, 学校保健研究, 38 (2), p.114~120
- 7) 米田勝朗・榎野均・今西文武他, (1997): 大学生における健康とライフスタイルとの関係について, 名城大学人文紀要, 32, p.61~75
- 8) 川畑徹朗, (1996): ライフスタイルの変化と生涯保健, 学校保健のひろば, 44 (5), p.22~25
- 9) 村松常司・村松園江・秋田武他, (1995): 青年期女性の喫煙習慣とライフスタイルに関する研究, 愛知教育大学研究報告, 44, p.75~86
- 10) 大河原悦子・小泉直子・藤本晴美他, (1994): 男女学生のライフスタイルと健康との関連, 栄養学雑誌, 52 (4), p.173~189
- 11) 厚生統計協会 (2001): 健康状態と受療状況, 国民衛生の動向, p.76~79
- 12) 亀山良子・白木まさ子・竹内宏一 (1998): 女子短大生における健康志向食品の利用状況と生活行動との関連性について, 学校保健研究, 40, p.168~181
- 13) 村田真理子・陳芳・坂本弘他, (1997): 看護学生にみる生活習慣に関する自己認知と生活記録との関係, 日本公衛誌, 44, p.928~933
- 14) 松田芳子・安武律・柴田邦子他, (1997): 大学生の疲労感の実態と関連要因について－生活習慣および食生活からの検討－, 学校保健研究, 39, p.243~259
- 15) 加藤敏明, (1992): ウェルネスの観点からみた大学生のライフスタイルと運動量について, 鳥取大学教養部紀要, 26, p.397~413
- 16) 西田弘之・杉浦春雄・竹本康史他, (1997): 女子大学生の入学時における骨密度測定が, その後の食生活や骨への意識に及ぼす影響－骨密度測定値別にみた違いについて－, 学校保健研究, 39, p.316~324
- 17) 木村操・鈴木千春・渡邊貢次他, (2000): 女子大学生の「健康意識」「医のイメージ」についての研究－養護学生, 看護系学生, 他学生へのアンケート調査から－, 第47回日本学校保健学会講演集, p.264~265
- 18) 大西真由実・小林壽子・渡邊貢次他, (2001): 短期大学生, 専門学校生の自己の健康への認識と医各科に対するイメージについての一考察, 鈴鹿国際大学短期大学部紀要, 21, p.115~131

資料 1

整理番号： \_\_\_\_\_

(秘)

健康調査票

研究代表者 渡 邊 貢 次  
(愛知教育大学養護教育教室)

以下の欄には記入する必要はありません。↓

性 別： 1 男 ・ 2 女

1

生年月日： 1 9 年 月 日 (満 歳)

2

(明治 年)

(大正 年)

(昭和 年)

[お願い]

この調査は、皆様の保健の状況を知るための大切な調査です。  
ご協力をお願いいたします。

お答えになった内容については、統計以外の目的には使用しません。

次のおたずねであてはまる (□) に印 (チェック) (レ) をして下さい。

(記入不要) ↓

1. あなたの健康は

3

- 1  大変よい
- 2  ややよい
- 3  よい
- 4  ややよくない
- 5  よくない

2. 健康が理由で次の行動について支障 (不自由) がありましたか。

あった    あった    なかった  
(3か月より長く)    (3か月以下)

- |                                      |                          |                          |                          |                        |
|--------------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|
| a. 重い物を持ち上げる, スポーツに参加する, ような運動       | 1                        | 2                        | 3                        | 4                      |
|                                      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="text"/>   |
| b. テーブルの移動, 食料品の持ち運び, ボーリングなどの中程度の運動 |                          |                          |                          | 5 <input type="text"/> |
|                                      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |                        |
| c. 上り坂の歩行, もしくは階段を昇ること               |                          |                          |                          | 6 <input type="text"/> |
|                                      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |                        |
| d. 背中を曲げたり, 物を持ち上げたり, 身かがめること        |                          |                          |                          | 7 <input type="text"/> |
|                                      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |                        |
| e. 町の一区画 (ブロック・道路から次の道路まで) の歩行       |                          |                          |                          | 8 <input type="text"/> |
|                                      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |                        |
| f. 食事, 着替え, 入浴, もしくはトイレの使用           |                          |                          |                          | 9 <input type="text"/> |
|                                      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |                        |

3. この1か月 (4週間) で, 身体に痛みがありましたか。

10

- 1  なかった
- 2  ごく僅かの痛みがあった
- 3  僅かの痛みがあった
- 4  中程度の痛みがあった
- 5  激しい痛みがあった
- 6  大変激しい痛みがあった

4. 健康が理由で仕事をする事、家の事をする事、もしくは学校に行くことに支障がありましたか。 (記入不要) ↓
- 11
- 1  はい、(3か月より長く)
- 2  はい、(3か月以下)
- 3  いいえ

5. 健康のために仕事、家の事や学校での勉強ができないことがありましたか。
- 12
- 1  はい、(3か月より長く)
- 2  はい、(3か月以下)
- 3  いいえ

次のそれぞれの質問についてこの1か月であなたが感じていることにもっとも近いものはどれですか。

- |  | つねに<br>あった                    | だいたい<br>あった                   | 中くらい<br>にあった                  | 少々<br>あった                     | 僅かに<br>あった                    | 全くそのよ<br>うなことは<br>なかった        |                         |
|--|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------|
| 6. この1か月に健康が理由で社会活動に支障がありましたか。<br>(友や親しい家族を訪問することなど) | 1<br><input type="checkbox"/> | 2<br><input type="checkbox"/> | 3<br><input type="checkbox"/> | 4<br><input type="checkbox"/> | 5<br><input type="checkbox"/> | 6<br><input type="checkbox"/> | 13 <input type="text"/> |
| 7. この1か月は神経質になっていましたか。                               | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | 14 <input type="text"/> |
| 8. この1か月はおだやかで平和でしたか。                                | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | 15 <input type="text"/> |
| 9. この1か月間はゆううつ(憂鬱)でしたか。                              | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | 16 <input type="text"/> |
| 10. この1か月は幸せでしたか。                                    | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | 17 <input type="text"/> |
| 11. この1か月は元気がなかったですか。                                | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | <input type="checkbox"/>      | 18 <input type="text"/> |



12. あなたの健康状態であてはまるのはどれですか。

(記入不要) ↓

	はっきり そうである	だいたい そうである	どちらとも いえない	そうでない	はっきり そうでない	
	1	2	3	4	5	
a. 病気である。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19 <input type="text"/>
b. 人並みである。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20 <input type="text"/>
c. 大変よい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21 <input type="text"/>
d. 最近よくない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	22 <input type="text"/>

あなたの現在もしくは最近1か月についてあてはまる番号に○を付けて下さい。

13. 歯ぐきがかはれることがありますか。	1	はい	2	いいえ	23	<input type="text"/>
14. 歯がしみることはありますか。	1	はい	2	いいえ	24	<input type="text"/>
15. 間食をよくしますか。	1	はい	2	いいえ	25	<input type="text"/>
16. 趣味はありますか。	1	はい	2	いいえ	26	<input type="text"/>
17. かかりつけの歯医者さんはいますか。	1	はい	2	いいえ	27	<input type="text"/>
18. 歯の治療は早めに受けるようにしていますか。	1	はい	2	いいえ	28	<input type="text"/>
19. 歯ぐきから血が出ることはありますか。	1	はい	2	いいえ	29	<input type="text"/>
20. 歯磨きを1日2回以上していますか。	1	はい	2	いいえ	30	<input type="text"/>
21. 自分の歯ブラシがありますか。	1	はい	2	いいえ	31	<input type="text"/>
22. たばこを吸いますか。	1	はい	2	いいえ	32	<input type="text"/>

23. 次のような各科に対するあなたの印象（イメージ）はどの位ですか。該当するイメージの数字に○をつけてください。

(1) 痛みに対するイメージについて

	非常に痛い	やや痛い	どちらとも 言えない	痛くない	全く痛 くない	
	1	2	3	4	5	
a. 内科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	33 <input type="text"/>
b. 外科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	34 <input type="text"/>
c. 整形外科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	35 <input type="text"/>
d. 精神科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	36 <input type="text"/>
e. 産婦人科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	37 <input type="text"/>

f	耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	38	<input type="text"/>
g	眼科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	39	<input type="text"/>
h	皮膚科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	40	<input type="text"/>
i	歯科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	41	<input type="text"/>

(2) 今のあなたにとって大切だと思うイメージについて

		非常に大切	やや大切	普通	大切でない	全く大切でない		
a.	内科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	42	<input type="text"/>
b.	外科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	43	<input type="text"/>
c.	整形外科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	44	<input type="text"/>
d.	精神科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	45	<input type="text"/>
e.	産婦人科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	46	<input type="text"/>
f.	耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	47	<input type="text"/>
g.	眼科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	48	<input type="text"/>
h.	皮膚科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	49	<input type="text"/>
i.	歯科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	50	<input type="text"/>

(3) 身近さのイメージについて

		非常に身近	やや身近	普通	身近でない	全く身近でない		
a.	内科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	51	<input type="text"/>
b.	外科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	52	<input type="text"/>
c.	整形外科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	53	<input type="text"/>
d.	精神科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	54	<input type="text"/>
e.	産婦人科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	55	<input type="text"/>
f.	耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	56	<input type="text"/>
g.	眼科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	57	<input type="text"/>
h.	皮膚科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	58	<input type="text"/>
i.	歯科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	59	<input type="text"/>

(ご協力ありがとうございました)